

令和6年度 東京都立府中高等学校 学校経営計画

校長 奥秋 將史

目指す学校像

生徒を勇気づけ励まし、学力、体力、徳力を伸ばし、一人一人の自己実現・進路実現を図るとともに、社会の一員としての役割を果たさせるため、日々、学校の教育活動の水準向上を目指す。

目指す学校像	1	「向上進取の精神と高い志の涵養」を目標に掲げ、将来の日本や国際社会において主体的に貢献するための資質・能力をもつ人材を育成します。地域社会における人との関わりを大切にし、地域の中核として協働する能力を持つ人材を育成します。(スクールミッション)
	2	学校行事や部活動・委員会活動を通じて社会性と健全な心身を育てる。
	3	人権尊重の精神を理解し、地域の方々から愛され、困難にも挫けることなく前向きに人生を歩める生徒を育てる。

2 中期的目標と方策

教育活動における最重要課題「学校の組織的な教育力の強化」

中期目標	1	高い志をもち、夢をあきらめない心を育成
	2	組織的な進学指導体制の充実を図り、国公立大学や難関私立大学に合格できる学力の養成
	3	規範意識と公共心、真の自主性と自律性の育成
方策	1	TOKYOスマートスクール構想による学習のデジタル化を推進し、学力の向上と定着を図る。
	2	グランドデザインにもとづく観点別評価により、育成すべき資質・能力の向上を図る。
	3	キャリア教育指導計画に基づき、第一志望校の進学を実現させる。
	4	公共心と健康で安全な生活に必要な能力と態度を育てる。
	5	知力、体力、徳力の向上を図り、社会人としての実践的な態度を養う。
	6	部活動を一層充実させ、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
	7	地域への貢献を通して、集団や社会の一員として、自主的、実践的な態度を育てる。
	8	防災に関する正しい知識・技能を身に付けさせ、共助の精神を醸成する。
	9	教育活動を積極的に広報するとともに、近隣中学校や地域へ情報を発信する。
	10	新学習指導要領を踏まえた学校図書館の活用による授業改善及び読書活動を推進する。
	11	経営企画室の機能を高め、計画的・効率的な予算の編成・管理・執行を行う。
	12	主幹教諭、主任教諭による計画的なOJTの推進。経験則の業務能力と実績を組織活用する。

「スクールポリシー」

(1) グラデュエーション・ポリシー

基本的な知識・技能を体系的に理解するとともに、社会常識や公共道徳といったスキルについての理解も深め、地域社会や国際社会にとって自らがどのように貢献できるかを自覚することができる資質・能力を獲得する。

(2) カリキュラム・ポリシー

卒業後に地域社会や国際社会において一定の貢献できる人材を育成するため、特定の進路目的に偏ることなく、高等学校の普通教科の教科・科目を有機的に配列することで、広く「敬愛主義」に基づいた教育課程を設定する。

(3) アドミッション・ポリシー

中学校の学習指導要領に基づく基礎的な「知識・技能」を修得し、事象に対して「思考力・判断力・表現力」を働かせようとする姿勢を有している中学校卒業生を求める。また、高等学校における普通教科全般について「学びに向かう力」を有すると同時に、異なる価値観を持つ人々とコミュニケーションができる「人間性」を有している者を求める。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

学習指導 進路指導	1	国公立大や難関私立大を目指した進学指導対策による組織的・効果的な進学指導体制の活性化を図る。 生徒一人一台端末を教科及び全体で授業等の教育活動全般にTeamsを一層活用し、チョークレス・ペーパーレスを図る。
	2	進学指導研究校(第3期)として、進路指導部主導による組織的・効果的な各教科における模試分析会や各学年によるケース会議(出願検討会含)を更に充実させる。進路指導ソフト(コンパス等)活用研修により操作スキルを向上させ、科目担当者間で学力到達度を共有し、教科は学習指導(Classi含)の見直し工夫・改善に取組み、担任は効果的に面談活用する。
	3	学習と部活動の棲み分けを行い、「立志塾」土曜日を含む学期中及び長期休業日中の補習・講習及び任意の学習課題により自学自習を推進する。担任と全保護者の面談を実施して、学習・生活・進路指導における家庭との連携を図る。
	4	言語能力の向上を図るため、読書活動を一層推進するとともにオンライン英会話やJET、ALTによる英語コミュニケーション力の充実。英語外部検定試験を実施して、生徒の英語4技能の目標到達レベルに応じて学習・進路指導する。
	5	教育相談機能を充実させ、普通科高校における「通級指導」を含む特別支援教育を組織的に推進する。
	6	地域探究アソシエイト校として、学校組織全体で持続可能なキャリア教育を推進し、地域の中核となる人材を育成する。
生活指導	1	時間遵守の指導、挨拶の励行、身だしなみ指導等、校則の見直しによる相互理解の基に基本的な生活習慣の確立を図る。
	2	授業規律をはじめとした学校生活のルール・マナーを遵守させるため、生活指導を全校体制で行う。
	3	いじめや体罰は絶対にさせない見過ごさない校内体制を構築し、生徒や保護者が安心・安全な学校生活を保障する。
特別活動 部活動	1	「Sport-Science Promotion Club」による部活動総合的なガイドライン及び文化・スポーツ特別推薦による学校の活性化を図る。
	2	学校行事や委員会活動を充実させ、社会性や帰属意識の育成を図るとともに学校内外に貢献する姿勢を醸成する。
防災教育 安全教育	1	避難所設営・運営訓練等の防災訓練の充実を図り、「共助」の精神を育成しボランティア活動を推進する。
	2	生命を尊重し、学校安全計画年間指導計画に基づき、登下校時の交通安全と災害等に対応した安全指導を推進する。
体力の向上 健康の増進	1	体育授業、部活動、学校行事等あらゆる機会を捉えて、基礎体力及び運動能力の向上を全校で取組む。
	2	東京都体力テストの結果を踏まえ、普段運動をする習慣のない生徒に、効率的に運動量を確保する取組みを推進する。
	3	生活習慣病に関する知識や対処を学ぶ。感染症等の防止対策を徹底し、健康安全な生活を維持する。

募集広報活動	1	ホームページのタイムリーな更新や授業公開5回、学校から地域・保護者等への情報発信のシステム化を強化する。
	2	学習指導、進路指導の特色、行事・部活動等の広報や、中学校や外部学習機関との連携事業を推進する。
学校経営組織体制	1	教科主任会と各教科会や学年と部の連絡調整機能を構築し、情報共有による組織間の風通しを促進。
	2	コンプライアンスによる個人情報の適切な管理及びクリーンデスク及びセキュリティ強化を推進する。
	3	教師、生徒における暴力行為や暴言、不適切な指導などすべての体罰等の根絶を図る。また、サービスの厳正を徹底する。
	4	教育相談委員会の規模拡大、スクールカウンセラー及び関係機関との連携による個に応じた生徒の組織的な指導体制。
	5	ITリーダー、ICT支援員を核にデジタル化を推進し、統合型校務支援システム、生徒一人一台端末の利活用を推進する。
	6	会議等のTeams活用による省エネECO活動を推進し、経営企画室業務の経営参画機能をさせ、都民の信頼にこえる。

(2) 重点目標と方策

①	国公立大や難関私立大の進路実現をさせる組織的計画的な教科内科目担当者の連携による指導力・受験指導力の向上を図る。新教育課程実施による観点別評価の精査充実を図る。
②	全教員又は教科又は学年による組織的効果的な模試分析会や共通テストの分析、進路検討会（ケース会議）を各学期1回以上実施する。
③	長期休業日中に受験対策及び学力向上のための講座を60以上、学習評価及び模試分析し、各教科で全学年の講習計画を作成・実施する。
④	「立志塾」での受験プログラムを充実させ、高みを目指す（難関私大以上）生徒を育成し、大学受験は団体戦の気概を醸成する。
⑤	生徒手帳の名称変更「生徒心得」として電子化し学校ホームページに掲載して情報発信と利便性向上でデジタル化推進。校則の見直しによる相互理解を深め、規範意識の育成と落ち着いて学習や部活動に取り組める環境を醸成する。儀式的行事では、教師がメリハリのある丁POPを率先垂範して標準服を着用させる。集会等の集団での行動を迅速且つ静粛・厳正に行い、はじめのある学校生活を構築する。
⑥	授業規律を遵守し、生徒の学習環境・学習習慣を整える。自学自習の推進「1日1課題(任意課題)」により生徒が自ら主体的に学習する意欲を高め、授業時間ごとの宿題の出題、小テストを継続して実施する。
⑦	遅刻者の自発的主体的に改善に取り組む指導を実施する。各学期の遅刻指導（学年・生活指導部）を組織的に全教職員で実施する。
⑧	登下校時における危険箇所の確認や自転車の運転マナーの向上を図り、自転車事故0（ゼロ）を目指す。交通安全、特に自転車を中心とした二輪車利用に関する交通安全教育を充実させるため、自転車ヘルメット着用の重要性を指導し、交通安全教室などを通じて実施する。
⑨	部活動加入率95%以上目指し、高体連、高文連の全国、関東大会、都大会やコンクール等への出場を目指す。また、「地域探究推進事業アソシエイト校」の指定を受け、探求推進委員会による持続可能な「総合的な探究の時間」の計画的・組織的に取り組む。
⑩	より高次の自己実現や進路希望を実現していくため、各分掌、各教科の横断的かつ有機的な取組を通して、学校組織全体でキャリア教育を推進する。本校学力スタンダードを策定し、校内での統一指針に基づき指導内容・方法を見直すとともに、生徒が基準に目標レベルに到達するまで学習指導を繰り返すを行い、卒業まで必要な学力を確実に身に付けさせる。
⑪	入学選抜方法の分析検証を図る。募集対策は、校舎改築改修工事と新カリキュラムの特色化及びびオンライン活用。
⑫	文化祭・体育祭・合唱祭など、より質の高い行事を探求し、実施形態や方法の見直し改善し、達成感・充実感の感性を豊かする。
⑬	より安全な事故防止対策による授業や体育的行事及び部活動を通じて、生徒の体力向上を図り、生涯にわたって心身ともに健康な生活を送ろうとする態度を育成するため、東京都体力テストを実施し、保健体育科を中心として全校体制で体力、運動能力の向上を図る。
⑭	学校図書館の来館生徒数、貸出冊数の増加。読書週間の調査結果分析、書評合戦、読書活動指導を充実させ、言語能力向上を図る。
⑮	校内美化を常に心がけ、毎日の清掃活動の他、ゴミ箱設置に伴い、主体的なゴミ分別と委員会活動による衛生的な生活環境を整備。
⑯	いじめや体罰、暴力暴言・性暴力等行為の根絶のため、校内服務事故防止研修会を年間3回以上実施する。
⑰	年間防災教育活動計画に基づき、避難所設置・運営訓練を含め年4回の実践的な避難訓練を実施する。被災後の共助について、地域・関係機関と連携した指導、訓練を行い、全学年の防災リーダー委員の組織化と防災士やボランティアの育成を図る。
⑱	地域の特別支援学校のセンター的機能を活用。各分掌のコーディネーター指名による組織連携体制拡大。個別指導計画等に基づく指導支援のアセスメントの共有。生徒の健康維持や心と体のケア、保護者との面談による状況把握と対応、不登校中途退学、自殺防止に取り組む。
⑲	ボランティアマインドや発達障害、障がい者、LGBTQ+などの性的マイノリティへの理解を推進する。スポーツへの関心を高め、公共の精神、国際感覚等を学び、全教育活動を通して2020東京大会オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを推進する。
⑳	家庭と学校の連携を充実するため、保護者会及び全保護者面談の実施及びオンラインを活用し、家庭との連携の効率化を図る。また、学校情報のホームページに随時公開し、学校、学年通信、メール配信やClassi活用して迅速かつ効果的な家庭と学校での情報の共有化を図る。
㉑	個人情報管理と情報セキュリティ、成績処理等管理マニュアルの組織的な管理体制の強化。机上整理・執務室環境整備を確実に実行。
㉒	各学年会に分掌部担当者が参加し連絡調整機能を向上。各種事務処理プランを活用し、経営企画室の業務進行管理の効率化。ライフ・ワーク・バランス実現に向けて、会議時間、資料電子化、オートメーション化により時間短縮で業務の効率化を図る。
㉓	生徒が安心して学業に専念できる学習環境を整備するため、仮設校舎及び新校舎移転に向けた環境改善整備の組織的な改善整備を図る。

令和6年度の数値目標		R6年度	R5年度 ←	R4年度 ←	R3年度
①	国公立大現役合格者数	10名以上	5名 ←	4名 ←	3名
②	上位難関私立大（早慶上理）現役合格者数	8名以上	1名 ←	4名 ←	1名
③	難関私立大（GMARCH等）現役合格者数	50名以上	27名 ←	21名 ←	30名
④	日東駒専現役合格者数	90名以上	77名 ←	83名 ←	65名
⑤	大学入学共通テスト受験者数及び全国平均得点上回率	180名、 1.00以上	150名 0.98 ←	154名 0.88 ←	152名 0.95
⑥	全国模試3教科・科目平均偏差値 第1学年	50以上	48.0 ←	46.7 ←	44.8
⑦	全国模試3教科・科目平均偏差値 第2学年	50以上	47.1 ←	46.8 ←	47.2
⑧	入学選抜中学進学対策志望倍率	1.85以上	1.66 ←	1.82 ←	1.56